

11 個性と夢

子どもに大切なのは、自信と自分を大切にできる力です。それは、植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。

過保護や過干渉はやめる

子どもの進む先の障害物を先回りして取り除く（過保護）、子どもの一挙一動に指示していく（過干渉）のではなく、子どもが好きなものを見つけるまで待ち、できるだけ子どもの力を信頼し、それを見守りましょう。

また、子どもの発達に応じてまかせる部分を次第に増やしていくことで、子どもは自らの成長を実感し、自信をもつことができます。

親の思いや考えを押しつけ過ぎない

親は自分が子どものために考えたことは正しいと思いがちですが、必ずしもそうとは限りません。自分の思いや考えを押しつけるのではなく、「あなたはどう思う？」と、まず子どもの言い分をじっくり聞き、子どもの気持ちをしっかり受け止めてから、「自分はこう思うんだが」と、一緒に考え一緒に学んでいく姿勢が大切です。

子どもの自己肯定感を高める

自己肯定感とは、「自分は生きる価値がある、誰かに必要とされている」と、自らの価値や存在意義を肯定できる感情のことを言います。自分の良いところも悪いところも含めて、自分のすべてを肯定できる前向きな感情とも言えます。自己肯定感の高い子どもは、自分に自信があり、何事にも挑戦していく心(折れない心)を持っています。

自己肯定感の高い子どもに育てるポイント

- ① どんなときも「あなたの味方」と伝える。
- ② 小さな成功体験を積み重ね、褒める。
- ③ 頑張りを認める。
- ④ 子どもの話を真剣に聞く。
- ⑤ 感謝の気持ちを伝える言葉「ありがとう」を言う。



親は子どもの応援団

子どもは子どもなりに夢や希望を持っています。その夢や希望を聞きましょう。また、自分の経験や、長い間にわたって苦労して夢を実現した人々の生き方などを折にふれて話しましょう。そして人生の目標は、汗を流し、失敗を重ねながら達成していくものだ、励まし、温かく見守っていきましょう。

教えて！Q&A

Q 子どもに将来の夢を持たせるには、どうすればよいでしょうか？

A 子どもの夢は、子ども自身が見たり聞いたりしたことから生まれます。そこで、まず、親が自分の子どもの頃の夢のことを、子どもに語りましょう。また、自分のことだけでなく、様々な職業や様々な生き方をしている人々について、語る事が大切です。その際、その人が世の中に役立っていることを添えることで、憧れを抱かせ、将来への希望を持たせることになるのではないのでしょうか。

〔鹿児島県PTA新聞 平成25年11月号より〕